

抗がん剤プロトコール 届け票

申請日	2024年 8月 8日	
申請者	所属科:外科	医師名:谷口 仁章
抗がん剤プロトコール内容		
略名	ビロイ+mFOLFOX6	
適応臓器名	CLDN18.2 陽性の治癒切除不能な進行・再発の胃癌	
薬剤名	ビロイ (一般名:ゾルベツキシマブ (遺伝子組換え)) オキサリプラチン (一般名:オキサリプラチン) レボホリナート(一般名:レボホリナート) フルオロウラシル (一般名:フルオロフラシル)	
注意点	薬剤の注意点を遵守すること。 ビロイは0.2ミクロンのポリエーテルスルホン製フィルターを用いて投与すること	
用法・用量・投与スケジュール		
2週1サイクルとして繰り返す。 day1 前投薬: 5HT ₃ 拮抗剤+アロカリス+デキサメタゾン9.9mg+ポララシ を30分で投与 ゾルベツキシマブ 800mg/m ² (初回) 400mg/m ² (2回目以降) を2時間以上かけて投与する。 レボホリナート 200mg/m ² とオキサリプラチン 85mg/m ² を別々のバッグに入れて、同時に2時間で投与 フルオロウラシル 400mg/m ² を15分以内で急速静注 フルオロウラシル 2400mg/m ² を46時間持続点滴 ビロイは投与中に嘔気が発生する可能性あり、投与を一時ストップすることで改善する。 詳細はビロイ投与マニュアルを参照すること。		
Evidence	各薬剤添付文書・適正使用ガイド	
備考	HER2 陰性かつ CLDN18.2 陽性の患者に投与する。	
がん化学療法委員会承認日:2024年 8月 19日		